

自然災害と子ども・地域力

公益社団法人 こども環境学会

理事・前会長

小澤 紀美子

阪神・淡路大震災で被災した
子どもたちの言葉

自然はムカつく
自然はゆだんができない
自然は1つの未知の生きもの
地球は生きている

ほとんどの木が地震で
倒れなかった、すごい
人間に起こせない力を
自然はもっている

気仙沼市立階上中学校
梶原裕太さん<2011.3.22卒業
式答辞>

・・・自然の猛威の前には人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。・・・天が与えた試練と言うには、むごすぎるものでした。辛くて、悔しくて、たまりません。しかし、苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。・・・

「自然の力の大きさ」に気づき、「地球」を考える子どもたち

「東日本大震災支援にかかる行動計画 -子どもの参画による、 子どもにやさしい“まち”の再生を目指して-」

2011年4月

行動計画の基本理念

- ①子どもの成育環境の視点
に立った復興支援
- ②子どもの声に耳を傾け、子ども
自身の回復力を被災地の活力と
する支援
- ③復興計画における子どもに
やさしいまちづくりへの支援

こども環境学会の取組みの視座 過去に学び・今を知り・未来からの学び —子どもの力をいかす社会への変革—

- ✓ 日本社会のシステムや地域の脆弱性を超える
- ✓ 支援過程でみてきたこと：
* 確かな「子どもの力」と「コミュニティカ」

子どもの計画づくりへの意思決定への
参加/子どもの視点からのこれまでの
「まち」の検証/多様な子どもたちの
参画と仕組みづくり/地域は学びの
「屋根のない学校」/大人が変革の風
を起こすこと



東日本大震災に関する こども環境学会の取組み

- 「東日本大震災支援にかかる行動計画—子どもの参画による、子どもにやさしい“まち”の再生を目指して—」→ガイドライン
- 福島県との包括協定にもとづく「子どもの遊び環境サポート事業」と子育て支援に対応した政策提言→ふくしまっこ遊び力育成プログラム
- 復興庁『新しい東北』先導モデル事業「子ども環境づくりガイドライン」(2014.3.)／「こども環境復興マスタープランの作成」(2015.3予定)

こども環境学会東日本大震災復興支援 国際コンペとその成果—協同・協働



* 子どもの成長と変容

* 専門性を活かした復旧
・復興への技術的アドバイスによる復興支援



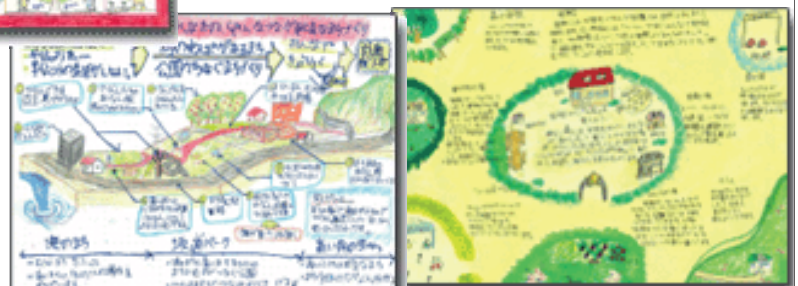
未来の七郷まちづくり

報告書

2014年3月

仙台市立七郷小学校 6年

| 1組 | 2組 | 3組 | 4組 |
|------------------------|-------------------|----------------------|--------------------|
| テーマ | テーマ | テーマ | テーマ |
| 人と人がつながった ハーモニシティ七郷 | 緑と太陽を まかしたまち七郷 | 緑が深く美しい ガーデンシティ七郷 | おどろきの あふれる七郷タウン |
| 3ページから | 9ページから | 15ページから | 21ページから |



<http://www.children-env.org/sinsai/>国際コンペ/応募提案/

小・中・高校生参加ワークショップ at 気仙沼階上中学校



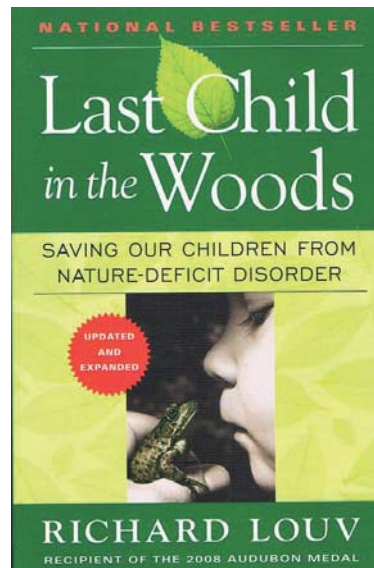
平成25年度・平成26年度 復興庁「新しい東北」先導モデル事業 報告書

こども環境ガイドライン

— 子どもの参画による、子どもにやさしいまちの復興再生 —



自然欠乏症候群



「あなたの子どもには自然が足りない」



こども環境学会大会提言 子どもが「つなぐ」 -子どもの地域力-

仙台大会宣言提言 2012年



- 1.一人のアイデアからはじまる：
手を挙げることから連携へ
- 2.子どもの役割:意見を言う/大人の
役割:子どもの声を聴く
- 3.計画から実行へ
- 4.地域資源を見出し、環境価値
を高める
- 5.たくましく生き抜く力をもつ
- 6.子どもの「今」を大切にする

東京大会提言 2013年



- 1.子どもの表現力を受けとめる
ためには大人が遊び心を
- 2.大人と子どもと一緒にいる
ことが楽しいまちづくり
- 3.既存の子ども観にとらわれず
新しい試みに挑戦
- 4.子どもを守るための社会制度
への積極的な発言
- 5.子どものコミュニティ力(地域
力)を生かすため大人が変革
の風を起こす など

自然・文化・社会・人の相互関係性



学術会議環境学委員会より

地球公共財としての視座:地球におけるすべての
生命体が、将来にわたり持続的に生きて
いくための共有の資源

物的環境:気候、地形、水、植生、土壌など

社会的環境:政治、経済、制度など

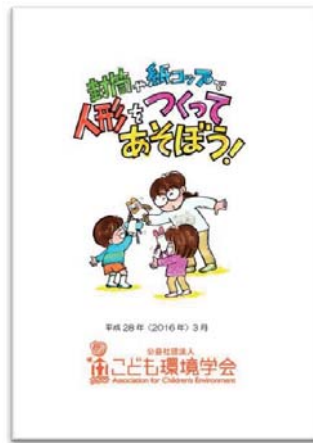
文化的環境:歴史、教育、コミュニティ、慣習など

子ども支援の災害対応マニュアル

(1) 心を育む



① 小規模児童劇



② 大規模児童劇



こどもミュージカル『おとぎの森へ』

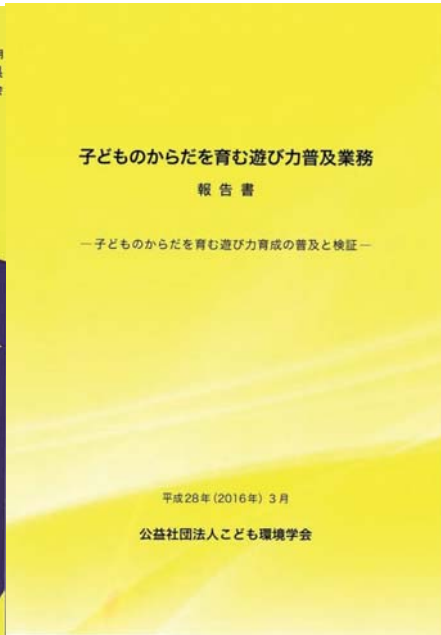
遊びは意欲を育む基本

- * 東日本大震災での支援の経験を踏まえて
- * 子どもの遊び力活性化の経験を活かして<福島県>
- * 遊びを知らない子育て世代の増加
→共に遊び共に元気に復旧・復興に対応
- * パンフレットを策定して誰でも支援可能に



(2) 体を育む

保育士・保護者向け冊子→



子どもの発達と原理に基づき

- ①愛着形成
→人との信頼関係→コミュニケーションの基礎力
- ②体力・身体能力の育成、社会性の育み、意欲の醸成、精神的な強靱さの獲得
- ③自立性・五感・第六感
・危機管理能力・回復力

平成26年度報告書

平成27年度報告書

熊本での心をはぐくむ支援活動 こども環境学会メンバーによる実践



仙台市の「笑顔バス」がやってきた



あきらちゃん&コロツケくんコンサート笑顔バス



新田どんちゃん&ひろみちゃんお話し遊び



写真:(有)プランニング開提供

熊本でのこども成育環境状況調査 ・支援活動など

- 熊本県土木部建築住宅局建築課
意見交換
- 熊本県健康福祉部子ども・障がい福祉局
子ども未来課意見交換
- 認定こども園 某幼稚園意見交換
・視察・アドバイス
- 熊本県土木部建築住宅局建築課意見交換
- 保育所並びに仮設住宅団地調査など



1) こどもを核としたコミュニティの再生 歴史・文化や絆を継承する視点からの「地域力の再生」

2) 「過去に学び・今を知り・未来から学ぶ」 「持続可能な地域づくり協議会」による住民の対話の展開 プロセス重視の推進

3) こどもの力を包含した地域力で 協働・持続性・共創

日本各地には地域に即したコモンズ（共有地）存在
持続的維持についての共通価値を創出し、
地域で育まれてきた地域資源を見出し、環境価値を高める
多様な主体やセクターとの協働
地域の風土性+

自然的環境の持続性、社会的環境の持続性、文化的環境の持続性
新たな枠組みを地域力によって再構築し、共創していくこと

4) 大人が変革の風を起こすこと

専門家としての智慧を分かりやすく・楽しく子どもに伝える



汗をかこうと訴える



国連で訴える子ども
World Vision HP より

自然や社会の脆弱性に対して未来を担う子どものResilience回復力の強化

ESDユネスコ国際会議2014.11: 子どもは未来・希望

“未来を考えて！子どもに出来ること、大人だって出来る“

「外なる自然」破壊と「内なる自然」破壊

真の学びへ→学び方の変革

アクティブ・ラーニングとシステム思考・課題解決型学び

→好奇心・探究心・自立性・五感・第六感・危機管理能力



公益社団法人
子ども環境学会
Association for Children's Environment

